

VI 智恵の「都」をつくる

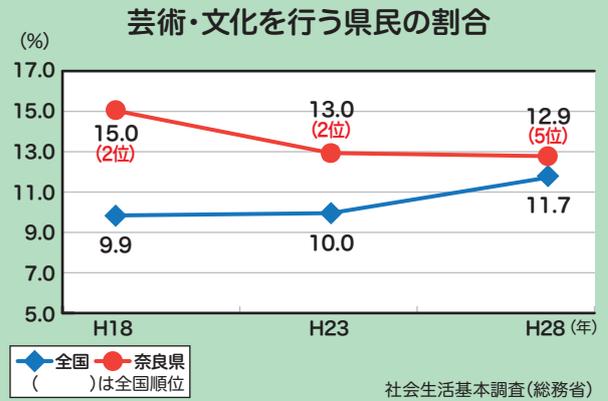
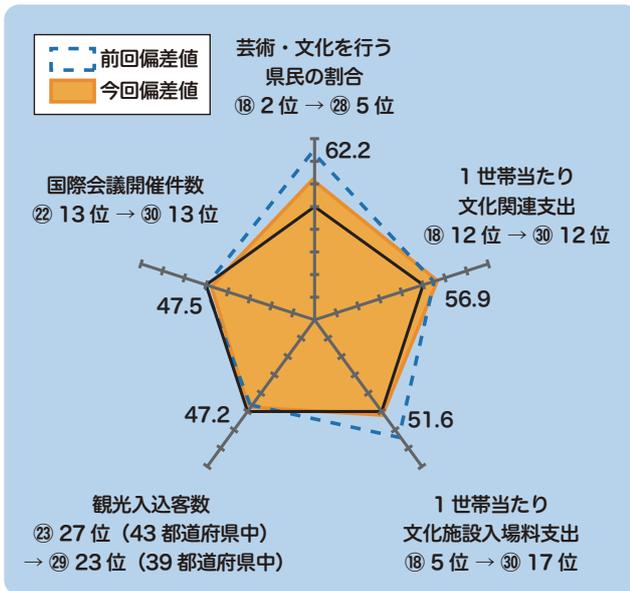
～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～



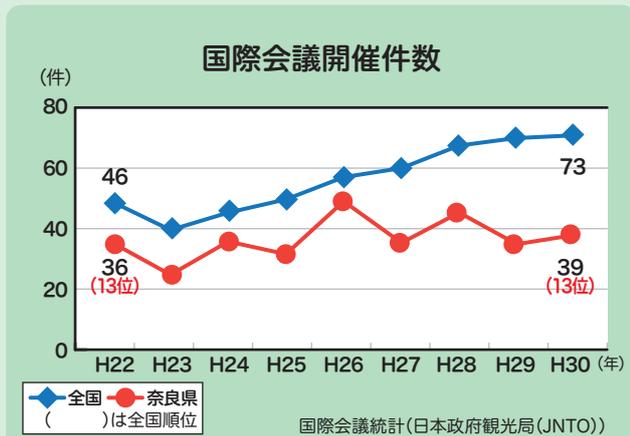
20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興



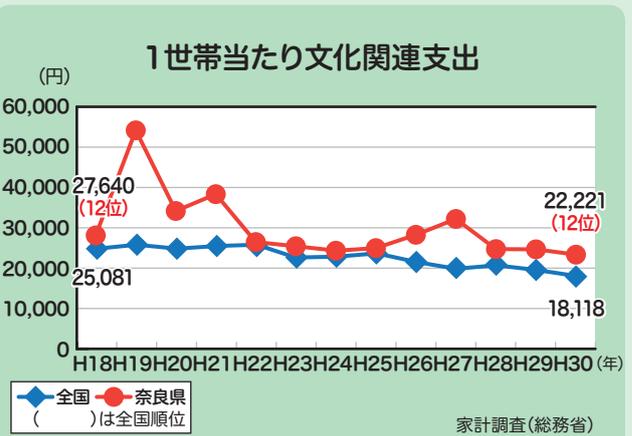
21. 海外との交流展開



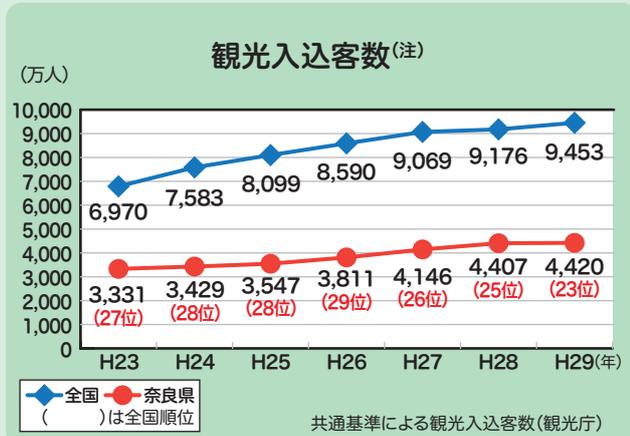
平成28年の芸術・文化を行う県民の割合は、平成18年と比較して2.1%減少していますが、全国平均を上回っています。



平成30年の国際会議開催件数は、平成22年と比較して3件増加していますが、横ばい傾向が続いています。

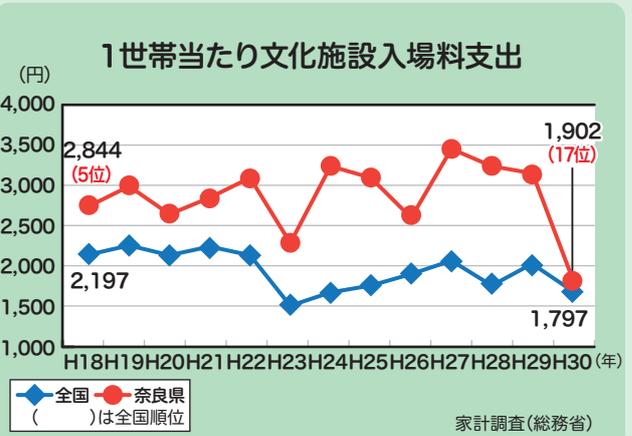


平成30年の1世帯当たり文化関連支出は、平成18年と比較して5,419円減少していますが、全国平均を上回っています。



(注) 都道府県により公表時期が異なるため年により公表されている都道府県数が異なります。H23:43都道府県 H24:43都道府県 H25:44都道府県 H26:44都道府県 H27:43都道府県 H28:43都道府県 H29:39都道府県 (令和元年12月時点)

観光客入込客数は、平成23年に比べ増加しましたが、依然として全国平均より低い状態が続いています。



平成30年の1世帯当たり文化施設入場料支出は、平成18年と比較して942円減少していますが、全国平均を上回っています。

VI



(112) 文化財の保存と活用

これまでは

文化財は公共財との考えのもと、その「保存」と「活用」を車の両輪と捉え、一体的な施策展開を指向してきました。

- ・文化財保護行政の知事部局移管
- ・奈良の仏像海外展示の実施
- ・なら歴史芸術文化村の整備

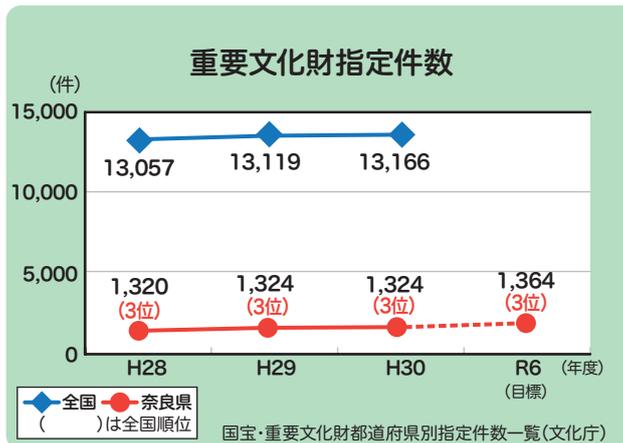
もっと良くするために

- ・文化財の保存と活用を一体的に推進するため、令和2年6月に、(仮称)文化財保存活用条例を制定します。
- ・文化財の保存と活用を体系的に推進するため、奈良県文化財保存活用大綱を令和2年度中に策定し、文化財の本質的な価値が理解されるように努めるとともに、文化財修復人材の育成等に取り組みます。

目指す姿

令和6年度に重要文化財指定件数全国3位を維持します。

奈良県の重要文化財指定件数は全国3位なんだ。その内、彫刻や建造物の国宝件数は全国1位なんだよ。



引き続き、文化財の保存だけでなく、活用にも力を入れて、一体的に取り組んでいきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
文化財の保存修理の促進	所有者・管理者等が行う文化財の保存修理事業への補助		
なら歴史芸術文化村での活用に向けた文化財情報の収集及びコンテンツ制作	未指定文化財実態把握調査等		
飛鳥京跡苑池の発掘調査	発掘調査、県有地維持管理等		



(113) 文化財防災対策の構築 (114) 文化振興条例の制定

これまでは

貴重な文化財の多い奈良県では文化財防災対策が極めて重要です。

- ・文化財緊急防火対策強化会議開催
- ・文化財建造物の防災設備の設置等への補助

奈良県の文化振興を総合的・戦略的に実行することが必要です。

- ・奈良県文化振興大綱の策定(平成29年3月)
- ・奈良県文化財保護体系推進会議

もっと良くするために

- ・芸術・文化で奈良をいきいきとするため、(仮称)文化財保存活用条例、(仮称)文化財防火対策推進条例とともに(仮称)文化振興条例の制定を目指し、総合的・戦略的展開を図ります。
- ・文化財の防火対策を推進するための体制を整備するとともに、文化財所有者による取り組みの支援を行います。
- ・芸術文化活動に障害者も含めた多くの県民が参加できる仕組みを検討します。

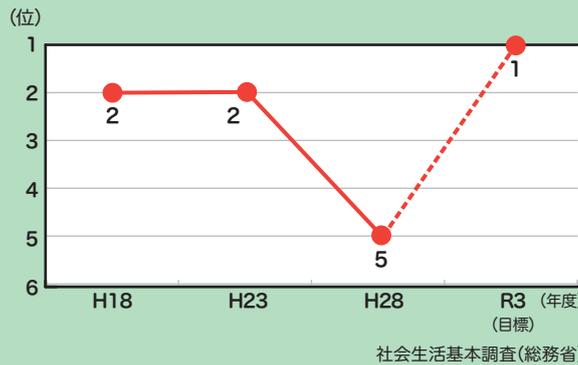
目指す姿

令和3年度までに芸術・文化を行う県民の割合を全国1位にします。

奈良県の芸術・文化を行う県民の割合は、全国でも上位となっているんだね。



芸術・文化を行う県民の割合の全国順位※



そのとおりです!引き続き、質の高いイベントを実施するとともに、芸術文化への参加・鑑賞の機会や活動の裾野の拡大に努力していきます。



※は数値が低い方が良くなる指標です。

主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
「ムジークフェストなら」の開催		社寺等の歴史文化遺産を会場に、クラシックコンサートを中心とした音楽イベントの開催	
奈良の仏像等海外展示の検討		奈良の仏像等海外展示検討、実施	
文化財関係者による情報共有等の促進		文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議の開催	
文化関連条例の制定	条例検討	●制定	文化関連条例に基づく施策の展開



(115) 文化クラスター事業・日本博事業への参加

これまでは

- 文化クラスター事業(文化芸術振興費補助金の活用)への参画
- 日本博事業(文化庁を中心とした大型国家プロジェクト)への参画

モデルケースとなる事業を実施し、県内の多様な行事主催者間の連携事業を誘発してきました。

もっと良くするために

- ・ 歴史文化資源を多数有する本県の文化・奥深さを発信し、誘客促進を図るため、地域を拡大した文化クラスターの形成や、博物館等のインバウンド対応、バリアフリー化など、様々な事業を展開していきます。
- ・ 日本博を開催する国の動向を踏まえ、奈良県が発信するにふさわしい文化資源やテーマに関するイベントや文化財修理現場の公開などの情報発信を実施していきます。

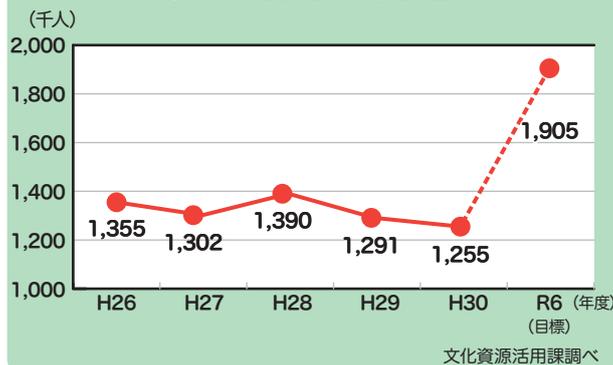
目指す姿

令和6年度までに県立文化施設の来訪者数を1,905千人にします。

「日本博」「文化クラスター」ではこれまで、シンポジウムや展覧会を開催して、奈良の魅力を発信してきたね。



県立文化施設の来訪者数



これからも歴史文化資源を活用して奈良県の文化を発信し、県立文化施設の来訪者数が増加するよう努力していきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
文化クラスター事業への参画	シンポジウム、連続講座等の継続的実施、展示環境改善等		
日本博事業への参画	国内外への情報発信		



(116) 記紀万葉プロジェクトのこれから

これまで

これまで、記紀万葉をテーマとして2012年から2020年の事業として奈良ゆかりの歴史文化の情報発信をしてきました。



古事記のまつり
古事記こどもかるた大会
(奈良春日野国際フォーラム葛)



古事記のまつり
古事記朗唱大会
(同左)

もっと良くするために

- ・ 2012年より取り組んでいる「記紀・万葉プロジェクト」の集大成として、日本書紀完成1300年にあたる2020年に、藤原不比等没後1300年を記念した事業などを実施します。
- ・ 聖徳太子没後1400年を迎える2021年度は、これまで確立した手法をベースに、聖徳太子を広く知ってもらうためのイベントの開催等、奈良ゆかりのテーマを毎年新たに設定し、継続的に奈良の歴史文化を情報発信し成果をあげます。
- ・ 令和6年度の「飛鳥・藤原」の世界遺産登録を目指し、作業を進めます。

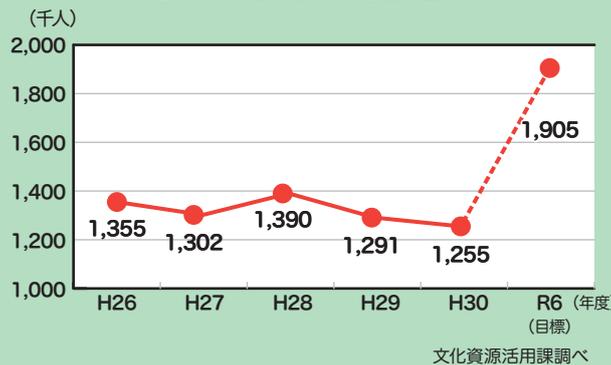
目指す姿

令和6年度までに県立文化施設の来訪者数を1,905千人にします。

「記紀・万葉プロジェクト」ではこれまで展覧会やシンポジウムを開催したり、冊子やホームページを制作して奈良ゆかりの歴史文化を紹介してきたね！



県立文化施設の来訪者数



これからも奈良ゆかりのテーマで継続的に歴史文化情報を発信して、来訪者数が増加するよう努力していきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
記紀・万葉プロジェクトの推進	日本書紀完成・藤原不比等没後1300年		
聖徳太子プロジェクトの推進		聖徳太子没後1400年	
新テーマの検討			奈良ゆかりの新テーマ検討(壬申の乱1350年等)



(117) なら歴史芸術文化村の活用策の検討

これまでは

なら歴史芸術文化村は、令和4年3月の開村を目指しています。

〈これまでの取組〉

- ・ 平成30年度
建築工事に着手、国の重点「道の駅」に選定
- ・ 令和元年度
ホテル(フェアフィールド・バイ・マリオット)が進出を決定



なら歴史芸術文化村イメージ(H30年2月時点)

もっと良くするために

- ・ なら歴史芸術文化村は、奈良が誇る歴史文化資源に触れ、また、質の高い文化芸術イベントを体験できる歴史芸術文化活動の拠点として整備します。
- ・ さらに、観光・産業振興等の取組と連携することで、地域活性化に繋がる相乗効果が期待できます。
- ・ この施設を核に、様々な取組が広がるよう、有識者や関係者などの意見を聴きながら、施設の運営や活用策について検討を進めています。

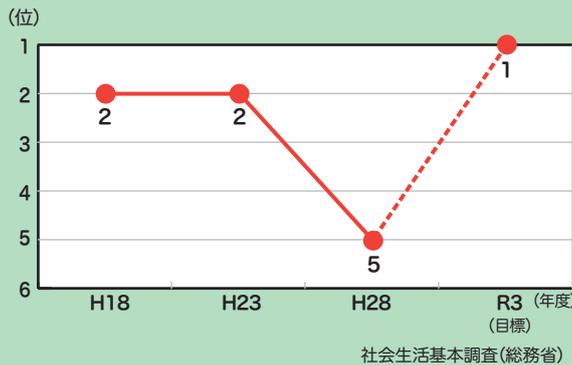
目指す姿

令和3年度までに芸術・文化を行う県民の割合を全国1位にします。

産直レストラン、農産物の直売所や、伝統工芸品の展示・販売もあるんだって!



芸術・文化を行う県民の割合の全国順位※



※は数値が低い方が良くなる指標です。

ここでは、文化財の修復過程を見学することや、ハンズオン展示、修復体験等、いろんな角度で奈良の歴史文化に触れられるんです。



アーティストと交流したり、子ども向けの文化芸術プログラム等も体験できるんです。

主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
プログラムの展開	ソフトの実施体制の構築、プロモーションの展開	協定締結大学と展開内容を確定・準備	オープン
施設の整備	建設工事、駐車場工事等		



(118) 研究勉強活動の充実強化

これまでは

奈良県では、これまで各分野において、様々な研究会や勉強会を実施し、県政の発展に繋げてきました。

〈例〉

- ・ なら歴史芸術文化村構想等検討委員会
- ・ 奈良県更生支援のあり方検討会
- ・ 奈良県と日本郵便株式会社との勉強会
- ・ 奈良県税制調査会
- ・ 奈良県総合教育会議
- ・ 国際問題研究所講演会

もっと良くするために

今後も、様々な分野において研究会や勉強会を設置・運営し、その成果を県政の発展に活かします。

- テーマを設定し、有識者が参加した研究会や勉強会を立ち上げ、講師のレクチャー・対談・意見交換会の記録をとりまとめ、資料の作成、発送、発信などの事業を行います。

目指す姿

今後も、様々な分野における新たな取組の実施等に向けた**研究会や勉強会を設置・運営し、その成果を県政の発展に活かします。**

県では、いろいろな分野で研究会や勉強会を開催しているんだね。



保護観察対象者の新規雇用人数



そうですね。勉強会や研究会で得られた成果を、県政の運営に活かすことで、それぞれの課題解決に繋げていこうとしています。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
研究会、勉強会の設置・運営	目的や内容に応じた運営体制の構築、講師の招へい		